

令和 7年 2月 19日
中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所
大林・大本・市川 JV【(株)大林組】

次世代型ダム建設に挑戦 ～新丸山ダム工事 建設 DX 実証実験～

新丸山ダム建設事業は、既設ダムの洪水調節機能を維持しながら嵩上げ工事を行う再生事業であり、施工計画から品質管理まで一貫した自律型コンクリート打設システムの実現に挑戦しています。令和5年12月に成功した複数建設機械の自動運転実験に引き続き、今回の実証実験では、従来手動操作としていたコンクリート運搬に用いるケーブルクレーンにおいて、揺動を制御し、約200m先・約100m下の目標地までの自律運転を行います。

1. 実証実験

令和7年2月20日（木） 13:30～15:30（予定） 小雨決行

- ・実証実験

ダム工事現場にて、コンクリートの運搬に用いるケーブルクレーンの自律運転や監視状況を確認。（別紙―1）

- ・概要説明

今回の実証実験概要を説明するとともに、自動施工の計画や、映像も交えながら現在取り組んでいるDXについて紹介。

2. 集合場所

新丸山ダム JV 事務所：岐阜県加茂郡八百津町3340-1（別紙―2）
集合後はマイクロバスでの移動となります。

3. 取材申し込み

取材等を希望される記者の方は、下記メールアドレスに会社名、氏名、連絡先等を記載の上、ご連絡をお願いいたします。

【連絡先】 E-mail: cbr-shinmaru.koumu@mlit.go.jp

【申し込み期限】 2月19日（水） 16:00

なお、実証実験中止の際は申し込みされた方へ当日午前中までにお伝えいたします。

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

【問い合わせ先】

新丸山ダム建設事業、建設 DX、全般に関するお問い合わせ

国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

副所長 まつばら かつひこ 松原 克彦 工務第一課長 あんどう なおき 安藤 直樹

電話:0574-43-2780(代表)

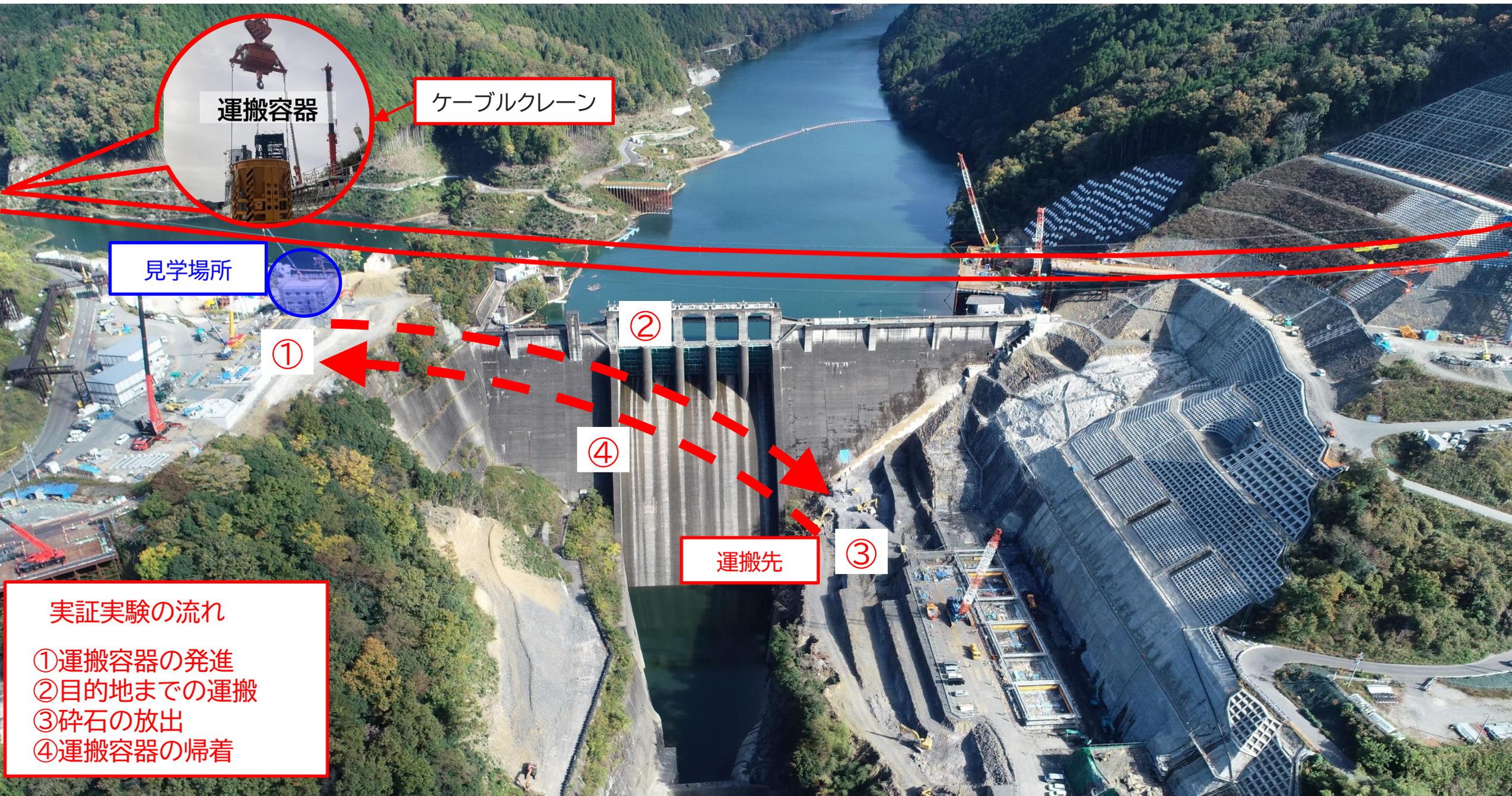
実証実験、自動自律化技術、統合管理システムに関するお問い合わせ

(株)大林組 本社 コーポレート・コミュニケーション室

広報課長 筒井 庸介、広報課主任 釜田 彩香

電話:03-5769-1014 E-mail: press@ml.obayashi.co.jp

実証実験の概要



運搬容器

ケーブルクレーン

見学場所

①

②

④

運搬先

③

実証実験の流れ

- ① 運搬容器の発進
- ② 目的地までの運搬
- ③ 碎石の放出
- ④ 運搬容器の帰着

集合場所

大林・大本・市川JV現場事務所

(岐阜県加茂郡八百津町八百津3340-1)

